

感染症疫学

3

県感染症情報センター

声なき感染症を知る

◆72◆

今回は感染症に関する情報との付き合い方、そして感染症に対応する上で重要な疫学についてお話しします。

▽容易な情報伝達の功罪

インターネットやSNS(ソーシャルネットワークやキングサービス)会員制交流サイト)などの発達で、われわれは世界中の最新の情報をより容易に、迅速に、大量に収集できるようになりました。情報を発信する側も受信する側も、便利になりました。しかし、その大量の情報の中には、真偽不明の情報も含まれ、それが拡散されていることがあり、中には偏見、風評被害などにつながることもあります。こういった功罪があること

を理解した上で、情報に対して冷静に判断し、出所が不明な正確な情報の扱いには注意しましょう。

▽分からないことが多い新興感染症

新型コロナウイルス感染症のよ

くても回復した可能性があり、その検証には、例えば年齢や基礎疾患、重症度などが似通った背景の集団を、使用した感染者集団と使用していない感染者集団に分け、致命率の減少や治療期間の短縮といったメリット、副作用や薬のコストといったデメリットを比較検討した研究が必要です。

▽疫学を生かした感染対策
感染症は先ほどの3要素を遮断することで、更なる感染拡大を防げます。この疫学が感染対策にかされた例として有名なのがコロンビアです。
顕微鏡もなく病原体の存在すら信じられていない150年前の英国ロンドンで、医師のジョン・スノウはコレラ流行地域の疫学調査により、原因として井戸の水が「コレラを起す何か」を含んでいる、と結論づけました。そして井戸のポンプの使用を停止したことで流行が収束しました。

不正確な情報に注意
疫学に基づく対策を

うな新興感染症では、特に限られた情報しかなく分からないことが多いので、研究が進み新たな知見が増えるにつれ、それまで正しいと思われていたことが覆される可能性があります。

感受性宿主(=感染症にかかりやすい人)の3要素がそろって初めて成立します。疫学とは、病気の流行状況を把握し、病気に関わるさまざまな要因を分析して有効な対策につなげる学問です。

「アウトブレイク(集団感染)」が起こると、個人の健康のみならず、社会全体に深刻な悪影響を及ぼします。
ですから感染拡大を防ぐため、感染源、感染経路、感染者に関する疫学情報を迅速かつ緻密に収集し、それを基に暫定的にでも緊急的な対応が必要です。そして、感染拡大の影響を小さくするには、集団発生の早期発見と対応を行うことが重要で、そのためにサーベイランスという感染者を把握する仕組みがあります。

国民の皆さまへ
ネット上の誤った情報にご注意ください



厚生労働省による拡散する誤った情報に対する注意喚起(厚生労働省が運用するツイッターTwitterhttps://twitter.com/mhlwtwitter/status/1225218110891802625から)

また、治療薬やワクチンがないとそれらに対する期待が大きいこともあり、ある治療薬を使用した後に回復したという前後関係がある場合に、使用したから回復したという因果関係として捉えられることがあります。使用した人が回復したのは事実ですが、使用しな

る上で重要なのは、どこで流行しているのか▽感染者とどのように接触してどれくらい経過してどのような症状が出るのか▽どのような人が感染しやすいのか▽どのような人がどれくらいの割合で重症になるのかといった疫学情報で